

## 帯広市所管施設における集団感染事例の発生について

令和2年11月26日、帯広市所管施設（豊成保育所）において、新型コロナウイルス感染症に関する集団感染事例が発生したことが確認されました。

これまでの経過と市の対応は、次のとおりです

## 1 感染者発生の経過

11月20日	市職員（市内45例目、道内6456例目）
11月22日	児童（市内48例目、道内7116例目）
11月24日	児童（市内52例目、道内7566例目）
11月26日	市職員（市内55例目、道内7979例目） 市職員（市内56例目、道内7980例目） 北海道より、同施設での感染者発生が5名となったため集団感染事例と認定。
11月28日	市職員（市内62例目、道内8522例目）
12月2日	市職員（市内72例目、道内9249例目）

## 2 帯広市の対応経過

11月20日	濃厚接触者の特定のため11月20日を閉所 （保育所内の消毒は既に実施済み） 当該職員が接触した一部の児童と職員は、濃厚接触者ではないがPCR検査を実施
11月23日	濃厚接触者の特定とPCR検査結果の確認のため11月24日から11月26日まで閉所 保育所内は、改めて消毒を実施 PCR検査の結果を踏まえて今後の対応を検討することを決定 （児童と職員に幅広く検査を実施）
11月26日	更に関係者のPCR検査を行うため、11月27、28日を閉所 PCR検査の結果を踏まえ、今後の対応は保健所と協議することを決定
11月29日	全児童と職員のPCR検査が終了。 これ以上の感染拡大の可能性は低いと保健所から確認ができたことから、11月30日（月）から開所する。 全ての公立保育所において、改めて基本的な感染症対策を徹底し、新たに感染拡大防止策を実施した上で運営を行う。

令和2年12月10日時点【豊成保育所-集団感染事例】

12月 2日	感染者が発生したことに関して、児童及び職員に新たにPCR検査が必要な対象者はいないことを確認したため、通常通り開所する。
12月10日	児童及び職員の濃厚接触者に対して行われていた2週間の健康観察は、12月9日までに終了。 現時点で、この事例に関連した新たな感染者発生など、感染が拡大する状況はない。